

平成15年度ホタテガイ採苗情報（第4報）

平成15年5月2日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸地方振興局水産部

「付着稚貝は少ない状況です。」

1 ラーバの出現状況

5月1日に唐丹湾でラーバ調査を行いました。

ホタテガイラーバの出現数は、200 μm未満が38個/トン、200 μm以上が9個/トンと、前回調査時（合計60個/トン）より減少しています。

なお、調査時の水深10m層の水温は6.7と、前回調査時とほぼ同じ値で、平成9～14年の平均値より2程度低めとなっています。

2 試験採苗器による付着稚貝調査

4月28日以降の調査において、宮古、釜石および大船渡地区で付着稚貝が確認されています。

しかし、付着数は、3～48個/袋と、調査地点間のばらつきが大きく、宮古地区の日出島および釜石地区の唐丹で付着数が増加している一方で、その他の地点では、10個/袋以下と、依然として少ない状況です。



図 調査地点および付着稚貝調査結果

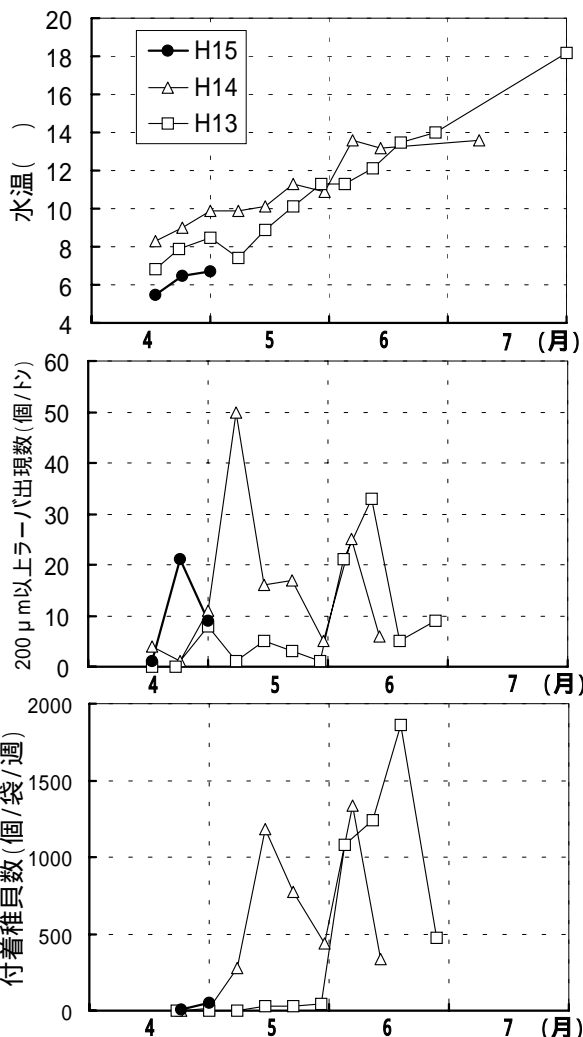


図 唐丹湾における水深10m層水温およびホタテガイラーバ・付着稚貝の出現状況

県中南部では、一部の地点で付着数が増加しています。

しかし、ラーバ数は減少し、大型個体の割合も低下しています。また、水温も依然として低く、稚貝の付着はあまり見込めない状況です。

次報は、5月9日頃発行する予定です。